

子どもたちにゆきとどいた教育を！ 30人以下学級実現・教職員定数増・教育予算増額を求める請願署名

新潟県議会議長 様

請 願 趣 旨

いじめによる自死や児童虐待・不登校の増加、子どもの貧困による教育格差の拡大等が大きな社会的問題となる中、私たちは、教職員が子どもたち一人ひとりに目をゆきとどかせ、じっくりと寄り添う時間の確保が必要だと考えています。そのためには、多くの保護者が望む30人以下学級を、教職員定数を確保した上で実現することが望まれます。

新潟県は昨年度、教育振興基本計画を改訂しました。その柱として、「誰もが等しく豊かな教育を受けられる環境の整備」を掲げています。その計画の実現には、小学校1・2年生に限定されている32人以下学級をはじめとする少人数学級の拡充が欠かせません。さらに、年々増加する児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに的確に応えるためには、養護教員・栄養教員や学校栄養職員・事務職員の全校配置、寄宿舎も含めた特別支援に係る教職員の増員も不可欠です。また、「県立高校の将来構想」の再編整備により学校減や学級減が懸念されます。子どもたちが地域の学校でともに学べるという就学機会が保障され、地域や保護者の声も十分に反映した高校再編が求められています。さらに、保護者からは教育費の負担軽減を望む声が依然として多く、県や市町村の教育予算を確保し、保護者の負担を軽減することが望まれます。

これらを具現化するため、下記の請願事項について最大限のご尽力をよろしくお願いいたします。

請 願 事 項

- (1) 県独自で行っている少人数学級パイロット事業について、さらなる教職員の増員をすすめること。当面は、32人以下学級を小学校3・4年生まで拡大すること。
- (2) 子どもたち一人ひとりにゆきとどいた教育を実現するため、教職員増等を可能とする教育予算の増額を図ること。特に、養護教員・栄養教員や学校栄養職員・事務職員の全校配置、寄宿舎も含めた特別支援に係る教職員を増員すること。
- (3) 高校再編について、子どもたちの就学機会が保障される、県民合意の高校再編となるようにすすめること。
- (4) 教育費の保護者負担を軽減するために、教育予算等を増額すること。

名 前	住 所
	新潟県
	新潟県
	新潟県
	新潟県
	新潟県
	新潟県
	新潟県
	新潟県
	新潟県
	新潟県

※個人情報、県議会請願以外に利用しません。

取扱い団体 教育をよくする新潟県民会議（事務局：〒950-0965 新潟市中央区新光町7-4 TEL025-281-8141）

協 賛 新潟県小中学校PTA連合会
 一般財団法人新潟県教職員厚生財団 公益財団法人日本教育公務員弘済会新潟支部
 新潟県学校生活協同組合 新潟県学校教育用品株式会社 教職員共済生活協同組合新潟県事業所